

平成27年度

学校評価



春日井市立八幡小学校

平成27年度「学校評価・教育活動等に関するアンケート」結果より

結果の考察

設問1「学校は楽しいですか」に対して「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答が保護者、児童、教師ともに9割を超えている。一方、「あまり思わない」「まったく思わない」という回答はとても少ない。学校が楽しいと感じる要因は様々なことが考えられるが、これからも、わかる・楽しい授業作り、学校行事などの充実をすすめ、すべての児童が楽しく感じる学校にしていきたい。設問2「授業は楽しいですか」に対しては、保護者の8割、児童の9割が高い評価をしているが、「あまり思わない」「まったく思わない」という回答が少なからずある。今後はこのことを真摯に受け止め、「誰もが楽しい」と感じることができる授業をめざしていきたい。設問3「授業の内容はよくわかりますか」に対しては、肯定的な回答が保護者、児童、教師ともに8割を超えている。今後も研修などを充実させながら「誰もが楽しく、わかる授業」作りを目指して、教師ひとりひとりの授業力を高めていきたい。設問4「授業中進んで発表しますか」に対しては、保護者、児童ともに3割前後が「あまり思わない」「まったく思わない」と回答している。今後も授業への参加度を高める工夫をしながら、児童の活発な取り組みを促していきたい。設問5「先生や友達の話をしっかり聞くことができますか」に対しては児童の肯定的な回答が多い一方で、教師・保護者の側からみると一概にそうとは言い切れない。学校生活においては、教師からの大切な情報がきちんと伝わっていないことが主な理由として考えられる。今後も授業や集会などを通して、他人の話をしっかり聞く姿勢を養っていきたい。設問6「学校のきまりを守っていますか」については保護者、児童ともに肯定的な回答の割合が多く、概ね、きまりを遵守している意識が高いが、教師はやや厳しい見方となっている。設問7「学校であいさつや返事がしっかりとできていますか」は、肯定的な回答が8割を超えており、おおむね、あいさつの習慣が定着しつつあると思われる。今後も、集会や各学級においてあいさつの大切さを訴えながら、児童会によるあいさつ運動、PTAによる登校時のあいさつ運動などを積極的に進め、毎日元気にあいさつのできる子どもたちを増やしていきたい。設問8「忘れ物は少ないですか」は教師側が厳しい見方をしており、「あまり思わない」という回答が7割にのぼっている。設問9「時間のけじめをつけ、チャイムで行動できていますか」については概ね肯定的な評価の割合が高い。忘れ物をすることによって学習活動や当番活動に支障をきたすことがないよう、また、より授業にしっかり取り組めるように、学習規律のルールを徹底させながら、基本的生活習慣を身につけるよう指導を重ねていきたい。設問10「読書」については残念なことに「読書ばなれ」が顕著に進んでしまっている状態を表している。インターネットの普及など様々な環境の変化も要因の1つと考えられるが、「読書は心の栄養」を合言葉に、今後も学校においては朝読書や、読書週間、読み聞かせなど、さまざまな読書活動に積極的に取り組んでいきたい。また、ご家庭においても親子で読書に親しむ時間を持っていただけたらと思う。設問11「仲の良い友達がいますか」については、児童、保護者ともに肯定的な回答であるが、教師の方が友人関係に関しては厳しい見方になっている。今後も児童の人間関係の変化をとらえながら、学級におけるあたたかい人間関係作りや、異なる学年が交流する活動を工夫し、幅広い人間関係を築けるようにしていきたい。設問12に対しては、保護者、児童、教師、ともに肯定的な回答の割合が高く、概ね良好な関係であるといえる。しかしながら、先生がほめてくれないと回答している保護者、児童が少なからずいることから、今後、教育相談などの機会を大切にしながら、全職員による児童への働きかけを通して児童と教師の良好な人間関係作りに努めたい。